



加治木町広報紙



広報

かじき

2004
平成16年

2月号

592号

KAJIKI

2004

KAJIKI



21世紀は私たちの時代

今月のページ

議会報告・かじきトピックス	2~7
かじきインフォメーション	8
がんばっています	9
新エネルギー・男女共同参画	10~13
竜門句会・図書館だより	14
うぶ声・御寄付・在宅医	15



この広報紙は再生紙を使用しています。

一般会計補正予算

1,723万3千円を追加
総額68億387万1千円に

補正予算の主なもの

- 始良西部合併協議会
電算システム統合調査費
472万5千円
- 私立保育所
延長保育促進事業補助
457万5千円
- 舗装補修工事費
1千万円

平成十五年第四回町議会定例会は、十二月九日から十二日まで、十四日間の会期で開催され「加治木町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件」など、条例改正関連二件を原案可決。また、人権擁護委員に内村健一氏を推薦することを適当と認めました。

平成十五年度一般会計補正予算一千七百二十三万三千円を追加し総額六十八億三千八百八十七万二千円に、また、水道事業会計や四特別会計の補正予算など、議案十件、諮問一件、陳情一件を審議、可決しました。

議 会 報 告

平成十五年 第四回定例会

無火災・無災害の誓い 新たに

加治木町消防出初式



きびきびと行なわれた放水演習

か
じ
き
ト
ピ
ツ
ク
ス



堂々と町内をパレード

新春恒例の加治木町消防出初式が一月五日、役場グラウンドで開催されました。

加治木中学校吹奏楽部の演奏に合わせて、六分団百六十二人の消防団員や消防車両が町内を堂々とパレード。式典では、消防ポンプ操法や放水演習、分列行進などが行われ、今年の無火災、無災害を祈りました。

また、川野保育所と高井田保育園の園児による幼年消防クラブの規律訓練も行われ、集まった多くの見物客から大きな拍手が贈られていました。

表彰者

★鹿児島県消防協会総裁表彰

○功績章

中野分団分団長 山下 憲夫

中野分団部長 谷口 利善

○精績章

中野分団副分団長 西 泰行

中野分団班長 山下 宏

中央分団班長 田ノ上 優

中央分団班長 川村 健一

小山田分団班長 安田 忠義

○勤続章（二十年）

中野分団分団長 山下 憲夫

中野分団部長 谷口 利善

★鹿児島県知事表彰

○勤続章（十年）

辺川分団班長 大宮路和美

辺川分団班長 中野 代嗣

辺川分団班長 大園 裕次

中央分団班長 徳重 武秀

中央分団班長 定榮 豊

中央分団班長 岩下 泉

中央分団班長 福末 勝美

中央分団班長 田之脇政文

中野分団班長 音之宮智広

★鹿児島県消防協会始良伊佐支

部長表彰

○勤続章（十五年）

錦江分団班長 山口 正広

錦江分団班長 津曲 鉄男

錦江分団班長 平田 孝治

錦江分団班長 瀬戸口 昭

中央分団班長 野元 和徳

中央分団班長 立元 隆正

辺川分団班長 大園 早人

西別府分団班長 内村 昭夫

錦江分団班長 湯川 春海

★町長表彰

○無火災表彰

（出初式から一年間以上）

中野分団 （連続十六年間）

小山田分団 （連続二年間）

辺川分団 （連続一年間）

○感謝状（退団者十五年以上）

元小山田分団分団長 東川内肇

元中野分団分団長 西濱 春一

元錦江分団分団長 宮内 守夫

○勤続章（二十五年）

辺川分団副分団長 上猶 好廣

中央分団副分団長 林 時治

○勤続章（二十年）

小山田分団副分団長 三宅利秋

中央分団班長 松尾 実

○勤続章（十五年）

錦江分団班長 山口 正広

錦江分団班長 津曲 鉄男

錦江分団班長 平田 孝治

錦江分団班長 瀬戸口 昭

中央分団班長 野元 和徳

中央分団班長 立元 隆正

辺川分団班長 大園 早人

西別府分団班長 内村 昭夫

○勤続章（十年）

錦江分団班長 湯川 春海

辺川分団班長 大宮路和美

中央分団班長 中野 代嗣

中央分団班長 大園 裕次

中央分団班長 福末 勝美

中央分団班長 前田 学

中央分団班長 田之脇政文

中野分団班長 音之宮智広

○団員表彰（五年以上）

小山田分団班長 内村 和行

中央分団班長 吉村 輝光

中央分団班長 猪目 初夫

中央分団班長 立山眞佐己

中央分団班長 岡田康一郎

中央分団班長 山之内幸二

中央分団班長 前田 昭

中央分団班長 汰木 新一

中央分団班長 大野 三男

中央分団班長 梅木 敏美

中央分団班長 緒方 勝広

中野分団班長 中野分団班長

★消防団長表彰

中央分団班長 山之内正己

錦江分団班長 大西 信茂

錦江分団班長 赤尾 博人

錦江分団班長 畑中 英夫

西別府分団班長 今村 孝行

中野分団班長 今村 美昭

中野分団班長 本中野政隆

○感謝状（退団者十五年未満）

元錦江分団班長 迫田 浩司

元錦江分団班長 穂森 史郎

元錦江分団班長 上原 猛

元小山田分団班長 芝原 雄一

元小山田分団班長 芝原 年男

元小山田分団班長 中島 昭博



表彰状を受け取る中野分団分団長の山下憲夫さん

夢・希望を胸に

**319人が
大人の仲間入り**

加治木町成人式

町成人式が一月十一日、加音ホールで行われ、新成人三百十九人の門出を祝福しました。

会場には、艶やかな着物やスーツに身を包んだ新成人が集まり、久しぶりに再会した友人らと二十歳になった喜びを分かち合い、一緒に写真に納まる光景があちこちで見られました。

新成人者らは、自分たちで式典を作ろうと、迫村公志さんを実行委員長とし、昨年から数回打ち合わせを行ってきました。

川野町長が「大人としての責任を持ち、自分たちの町や国際社会の中の日本を発展させる新しい力になって欲しい」と式辞を述べ、新成人を代表して末野俊裕さんが「感謝の気持ちを胸に、家族のことや地域のことなど、徐々に視野を広げながら大人の自覚と力量を備えていきたい」。また、宇都宮怜さんが「いつまでも変わらぬ友情を大切に、辛いことにも負けない思いやりのある強く優しい大人になりたい」と二十歳の主張を述べました。

アトラクションで小・中学校時代の恩師からのビデオメッセージや卒業写真などが大型スクリーンに映し出されると、会場では懐かしさに歓声や拍手が沸き起こっていました。



二十歳の主張
末野俊裕さん



二十歳の主張
宇都宮 怜さん



町民憲章を唱和した
佐々木孝樹さん 東加奈子さん



実行委員長
迫村公志さん



司会を務めた
永田啓嗣さん 徳留由佳さん



ピアノ伴奏
四元貴子さん



記念品受領
松崎かなさん

優秀賞に古江ナオミさん(加治木中一年)ら 第13回 全国読書感想文コンクール 椋鳩十文学記念館賞贈呈式



入賞者全員に表彰状が贈られました

第十三回全国読書感想文コンクールの贈呈式が一月十七日、加音ホールで行われました。今回は、全国十六都府県の小・中学校から四百三十九点の応募があり、百一点が入賞、また、五校が学校賞に選ばれました。川野町長が「これからも椋先生の作品を愛し、語り継いでいってください」と挨拶。入賞者らに表彰状が贈られた後、最優秀賞の岡部憲和さんと大矢格くんが作品の朗読を行いました。受賞者を代表して、大矢格くんが「これから今後も椋先生の作品をたくさん読み、命の大切さを学んでいきたい」と喜びの言葉を述べました。



前原拓哉くん



古江ナオミさん



蔵園 翔くん



南 怜旺くん

- 【入賞者】
- ▼最優秀賞―岡部憲和(東京都麹町小学校六年) 大矢格(山口県高水高校付属中学校一年)
 - 【町内関係分の入賞者】
 - ▼優秀賞―古江ナオミ(加治木中一年)
 - ▼特選―南怜旺(椋城小三年) 蔵園翔(椋城小五年) 前原拓哉(加治木中三年)
 - ▼入選―春田佳南(錦江小一年) 迫田千夏(錦江小一年) 松田知奈美(錦江小一年) 飛松春香(椋城小一年) 寺師千恵(椋城小二年) 西畑昇太郎(竜門小二年) 今村祐介(錦江小三年) 竹下千晶(椋城小四年) 向江真由(加治木小四年) 尾前直弥(錦江小五年) 福岡美歩(加治木小六年) 野元稚紗紀(椋城小六年) 岩澤夏海(加治木小六年) 寛山友理(加治木中二年) 富永彩也華(加治木中二年) 嘉納智美(加治木中三年)
 - ▼学校賞―錦江小学校 椋城小学校 加治木中学校

「椋鳩十文学記念館で椋先生の本を読み、心に残った動物を陶夢ランドで作陶しよう」と、町が昨年夏に実施した『2003・椋トム特別企画』の表彰式が十二月二十四日、町長室で行われました。

六十八点の応募作品の中から町長賞に松田知奈美(錦江小一年)さん、教育長賞に松田直樹(錦江小三年)くんの作品が選ばれ、川野町長と竹井教育長から表彰状と記念品が贈られました。入賞した知奈美さんと直樹くんは兄弟。思いがけないダブル受賞に母親の朋子さんは「まさか二人そろって入賞するなんてびっくりしました」と受賞の喜びを話していました。



喜びも二倍の松田さん兄弟



小山田ふれあい交流施設 加治木町畜産共進会場 落成式

地域の活動拠点施設として建設が望まれていた「小山田ふれあい交流施設」と「加治木町畜産共進会場」の落成式が一月十四日行われ、町や県、地元関係者など約五十人が出席し、新しい施設の完成を祝いました。

川野町長が「農業や畜産を主体として、今後ますます地域の活性化が図られることを期待します」と挨拶。テープカットが行われた後、町和牛振興会会長の榎田静雄さんが「今後も郡や県の共進会でいい成績が残せる



テープカットを行う川野町長ら



新しく完成した畜産共進会場

ように頑張ります」。小山田村づくり委員会会長の前田康徳さんが「新しい施設を有効に活用し、農業発展のために頑張っていけます」とそれぞれ御礼の言葉を述べました。

また、小山田棒踊り保存会による棒踊りも披露され、お祝いに花を添えました。

建設事業費は、両施設合わせて四千二百三十四万七千円。一部県の補助を受け、昨年十一月十五日から工事に着手していました。両施設は、西浦公民館の真正面に位置しています。

新春恒例の伝統行事「はま投げ大会」が一月十七日、役場グラウンドで開催され、自治会や老人クラブ、町議会など八チームから約五十人が参加。転がる「ハマ」を追いかけて、伝統の正月遊びを楽しみました。

はま投げは、一チーム五人ずつに分かれ、カシの木を輪切りにした直径六センチほどの「ハマ」を、「ボット」と呼ばれるスティックで相手のコートに打ち合うゲームで、自陣でハマが止まってしまうと負け。

大正初期頃までは正月遊びの一つとして、道路や広場などで盛んに行われていましたが、交通量が増えるなどして時代とともに衰退。しかしながら昭和五十四年に町老人クラブ有志らが復活させ、今年で二十五回目を迎えました。

前日の雨でグラウンドはややねかるんでいたものの、大会に参加した元青年らは「そら、いったどー」「うつかけんかー」などと威勢良く声を上げ、懐かしい遊びに時を忘れ夢中になっていました。

西元長寿会が優勝 はま投げ大会

〔成績〕

▼団体戦

優勝―西元長寿会 準優勝―柳田千年会

▼せこ打ち

優勝―岩下泉 準優勝―内村行男 三位―安田忠義



童心に返ってはつらつとプレー

クリーンエネルギー自動車

大気を汚さず、地球環境にやさしい
『クリーンエネルギー自動車』。

電気自動車は、電気で走り排気ガスを出しません。ハイブリッド自動車は、ガソリンエンジンと電動モーターを組み合わせ効率よく走るため排気ガスが減ります。天然ガス自動車やメタノール自動車は、炭素や有害物質の少ない燃料を使うので、排気ガスの中の二酸化炭素や硫黄酸化物などが減ります。

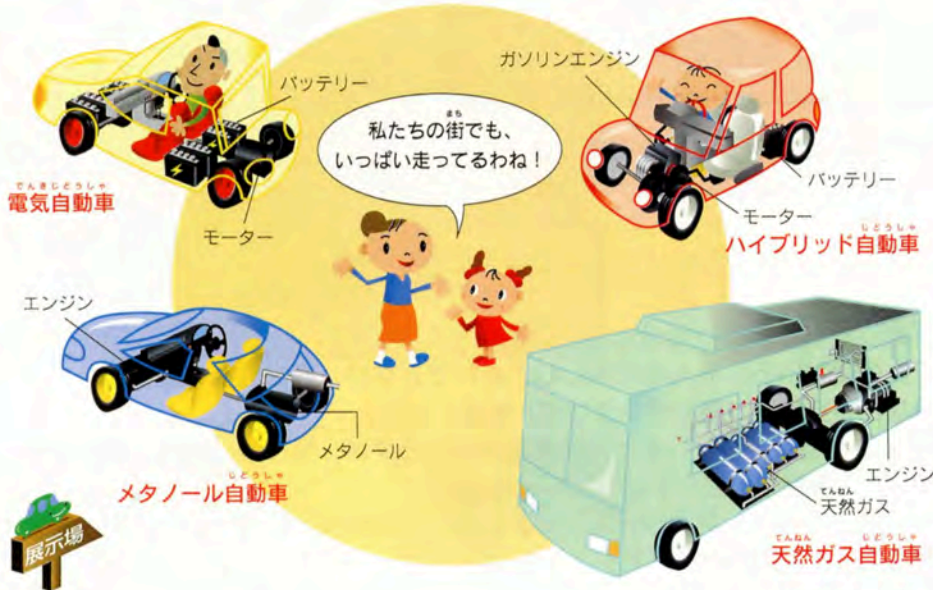
新エネルギーにはいろいろあるんだ。



天然ガスコージェ

エネルギーの高度な
『天然ガスコージェ』

発電機で「電気」を作るときに発生する「熱」も同時に利用して給湯やシステムです。「電気」と「熱」に利用するので、燃料が本来持っているを有効に使えます。

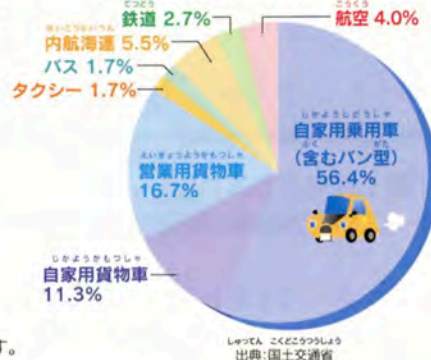


クリーンで効率が良く、そしてカッコいい

『クリーンエネルギー自動車』が各地で活躍しています。

自動車の排気ガスには、地球温暖化や大気汚染の原因となる、二酸化炭素(CO₂)や窒素酸化物(NO_x)、硫黄酸化物(SO_x)などが含まれています。クリーンエネルギー自動車を導入していけば、これらの問題の解決に有効です。

運輸機関別二酸化炭素排出量の割合(平成11年度)



メリット1

個人でも比較的導入しやすい新エネルギーです。

メリット2

クリーンなので、環境を保護している地域などでの使用に適しています。

メリット3

天然ガス自動車やメタノール自動車は、有害物質や二酸化炭素の排出量を少なくします。

『天然ガスコージェ』
さまざまな施設で

病院やデパートなどは、電気や熱を多く使います。また停電などの時のために自家発電設備を備えていることが必要です。このような大規模な施設には、利用効率の良い天然ガスコージェネレーションシステムが適しています。

メリット1

エネルギー利用効率が高く、燃料の使用量が抑えられます。

メリット2

天然ガスを使うので排気ガスがクリーンです。

問い合わせ先

役場 企画課 企画調整係 TEL62-2111(内線361)

シリーズ No.24



男女共同参画

ジェンダーからの解放は
男共共通のテーマです。男らしさから自分らしさへ
～男尊女卑の郷(くに)と言わせない～

12月13日、県主催の男女共同参画推進地域講座が志布志町で開催されました。1回目の講師は大阪市からメンズセンター運営委員長の中村彰氏。

(以下講演要旨)

男女共同参画の流れは「性別による縛りをなくしたい」とこれまでは主に女性の側から取組がなされてきました。

『いま男たちは・・・仕事というあり地獄から抜け出せない、会話が下手でつい手を挙げてしまう、男には7人の敵がいる、みんなで楽しむことができない、過去最多の過労死、リストラ等で一層激務となり「次は自分かと不安を持つ勝ち残りうつ病」急増』

こんな状況の中では、男性も性別による「強く、男らしくと、男なら泣いたらダメ、我慢強い男に、寡黙な男に・・・」などを求められ、自分らしさの発信ができにくい状況にあります。

会話や態度に男女の意識のズレもかなりあります。男女がお互いの思いを一つの枠にはめないで、許容し応援し尊重しあえる、一人ひとりが心豊かに生きる関係が大事です。

メンズセンターでは、「男」悩みのホットラインの電話相談(TEL06-6945-0252 毎月第1・2・3月曜午後7:00～9:00)、「ニュースレター」の発行もしています。

「中村彰のHP」は <http://homepage2.nifty.com/akira-na/>

「仕事だけ人間さよなら講座」も開催しました。これからは、家庭や職場で仕事だけでない自分自身の生き方、老後の関わり方・地域との関わり方を問われていきます。気持ちを軽くすると共に社会へ向かってのメッセージを送り続けていきましょう。



イラスト おおくぼヒロアキ

女たちが危ない！

～1人で悩まないで～DVの実態～

1月10日、2回目の地域講座が志布志町で開催されました。

講師は宮崎市からNPO法人ハートスペースM代表理事の財津三千代氏。(以下講演要旨)

2000年DV防止法ができ、ドメスティック・バイオレンスという言葉が認識されました。DVは親しい間柄からの「身体的・性的・心理的・言葉・経済的・社会的暴力」です。

暴力と喧嘩は違います。暴力は加害者と被害者が固定化しています。人権の侵害なのです。DVの起こる社会的構造もあります。その影響は心理的にも社会的にも経済的にも当然身体的にもひどい影響を与えます。子どもへの影響は特に深刻です。

DV加害者には特徴があり、「性別役割を当然と考え、パートナーに対する過剰な期待と過度の依存があり、嫉妬深く、支配欲独占欲が強く、神経過敏で傷つきやすく、内弁慶の外地蔵な人」です。

DV被害者への支援をしています。(ハートスペースM e-mail: heartspase@proof.ocn.ne.jp)

DVをなくすためには加害者対策(その背景を知り男性の生き方を考えること)と、被害女性も力を付け(自分の持っている力に気づき)、いかなる暴力も許さないという社会全体の認識が大事です。

女性に対する暴力根絶のための
シンボルマーク

すべての住民が安心して暮らせる 「男女共同参画」のまちづくりに向けて

男女共同参画社会の実現に向けて、学習・調査・研究し、策定予定の「かじき男女共同参画プラン」のあり方について、12月3日付で会長の岩下直美さんから提言をいただきました。

加治木町男女共同参画推進懇話会の方々は、これまで形成されてきた社会システムや、あらゆる場に深く浸透した「性別による役割分担」による慣習・しきたりについて、研修を重ねられ、これからの男女共同参画社会の形成について、住民と行政が一緒になって考える「男女共同参画行動プラン」の策定に参画できたことを誇りに、一人ひとりの生き方が個として尊重される「心豊かな活力に満ちたまちづくり」に向けて、邁進していきたいと述べられました。

深浦助役が「ご苦勞様。これからもそれぞれの立場で男女共同参画を推進して下さい」と提言を受理されました。町では懇話会の意見も採り入れ、プラン策定中です。

プラン策定にあたっては、「男女共同参画社会基本法」及び「鹿児島県男女共同参画推進条例」の基本理念である「人権」の視点に立って、次の事項を織り込んだものであるよう提言。



- ① 家庭・職場・学校・地域などあらゆる場で、人権意識を育てるための研修を定期的実施し、住民の意識を高め、ジェンダー・フリー（性別にとらわれずに、一人ひとりの個性を尊重すること）の考えを広めること。
- ② 家庭においては、性別役割分担意識の固定化を見直し、ジェンダー・フリーの視点に立った対等なパートナーとして認めあえるよう、それを支える各種の施策を進めること。
- ③ 職場においては、男女が対等なパートナーとして、ともに働けるために、性別役割にとらわれないような働き方を推進すること。
- ④ 学校においては、ジェンダー・フリーの視点に立って教育を実施し、誰もが対等なパートナーシップを築ける、自立した社会の構成員としての発達を保障する教育を推進すること。そのために性別役割を固定化する温床の一つである「男女別名簿」を解消し、「男女混合名簿」に改めること。
- ⑤ 地域においては、古い慣習・しきたりの中には、男女の平等な活動を妨げる要因となっている場合もあるので、これらを見直し、よりよい地域づくりを進めること。
- ⑥ 子育ても介護も、社会全体で支えるという意識を高め定着させ、子育て支援、介護支援を充実させること。
- ⑦ 政策・方針決定過程における女性の参画を促進するため、各種審議会、委員会などの女性の登用に数値目標を設定し、充て職などをやめ、新しい人材の登用に努めるとともに、可能な限り公募制にすること。
- ⑧ 女性への健康支援を、子どもを産む／産まない、産むとすればいつの時期に何人の子どもの産むかという権利の保障を中心とする「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）」の考え方を理解し周知・徹底すること。
- ⑨ 性差別の中で生まれた「ドメスティック・バイオレンス（DV、配偶者・パートナーからの暴力）」防止に対する理解の周知と研修の徹底。DV被害者に対する女性専門の電話相談や、一時保護等の救済措置を講じること。
- ⑩ 性差別の中で生まれた「セクシュアル・ハラスメント」防止に対する周知・徹底と確実な救済措置を講じること。

問い合わせ先

役場 総務課 男女共同参画係 TEL62-2111（内線281）



歳時記に飾る小さな鏡餅
数珠玉を採りこぼしつつ数え唄
片言の御慶も混じる座敷かな
湯煙りの白を濃くして山眠る
杖となり夫の片方の去年今年
初みくじ半吉で良し吾が余生
二人なれば逃れもならず煤払
年毎に年の重さや初日の出
茶の花の火灯す丘や遠汽笛
独り病み台所に立つ寒さかな
とんとんとかかとが叩く畳替
落葉降る庭を玉座に竹を編む
注連縄の奥の田の神福笑ひ
新春や花束を抱き傘寿の庭
花ハッ手喉の細菌さわぎだす
東風を斬る伝統指南の示現流
雲剥がれ冬日と共に桜島
英単語尻取りつづき息白し

岩田美知江 竹山 洋子 藤原 壽子 藤崎 文子 白尾 澄子 郡山マサ子 稲恒 寧夫 高木 正男 犬童 利春 柳田 稔 園田 千秋 脇本 星浪 酒匂 君江 古江 重美 田代 俊泉 宮脇 弘 永田まりりん 川崎 黒兎

『獄窓記』

山本讓司



元衆議院議員 山本讓司
ポプラ社

国会で見えなかったこと。刑務所で見えたこと。秘書給与事件で実刑判決を受けた元衆議院議員が陥った永田町の甘い罠と獄中の真実を描く。事件への悔悟、残してきた家族への思慕、恩人への弔意、人生への懊悩。そして至ったある決意とは。

『山のおふろ』



成康書店
村上徳間

子どもにしか見つけられない不思議な場所があるんです...

ある日、おにちゃんと山へさんぽにでかけた女の子。雪のなかで動けなくなつたトガリネズミをみつけたら、とつてもふしぎなことがおこりました...

『笑う招き猫』



山本幸久
集英社

新しく懐かしい国民的お笑い青春小説の誕生！駆け出しの女漫才コンビがやりたい放題！しゃべって泣いて笑って、ついには唄まで歌いだす。

その他の新着本

紺極まる

長野まゆみ

ダンボールボートで海岸

千頭ひなた

美しき日々(トピ)

宮本憲一

くるま社会

宮本憲一

NARUTO

宮本憲一

小説キャンディ・キャンディ

名木田恵子

なにをたべたかわかる?

長新太

おはなし会のご案内

(毎月第2土曜日)

日時：3月13日(土) 10時～

場所：町立図書館学習室

内容：絵本の読み聞かせ・紙芝居など

※どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。



たくさん読んでね



3月の休館日 1日(月)・8日(月)・15日(月)・20日(土) 春分の日・22日(月)・29日(月)

☎62-2605

御寄付

香典返しに代わりにお御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。

() は故人

◆社会福祉協議会へ◆

小鳥 萩原 春男
(妻 キヨ子 64)

楠園 前原 正子
(父 増田 初 90)

上木田 穂満 陽子
(夫 辰郎 75)

中野 有村 秋雄
(妻 タミ子 68)

井手向 前田 勇
(母 ミツ子 90)

里ノ下 上新 一博
(母 富永 フチ 78)

柳田 池袋ゆみ子
(夫 孝之 60)

札立 餅原 功一
(母 レイ子 87)

岩原西三区 中原 昭子
(夫 正夏 78)

◆老人クラブ連合会へ◆

井手向 前田 勇
(母 ミツ子 90)

◆町育英奨学資金へ◆

柳田 池袋ゆみ子
(夫 孝之 60)

▼1月15日までの御寄付を掲載いたしました。

うぶ声



出生児 保護者 自治会

松尾奈々美 健次 永原
岡田 綾乃 浩二 小陣
有村 颯真 賢一 田中
宝水喜美子 俊郎 反土黒川

出生児 保護者 自治会

小湊 莉子 裕一 加治木龍門
福岡 将大 宗将 赤坂
前平 南美 秀康 柳文館宅
池田 佳蓮 隆夫 岩原西二区
四元 佑紀 紀行 高井田
中川龍太郎 洋介 上浜
相生 一瑳 畠理 蔵王団地

▼1月15日までに住民台帳に記載された方を掲載いたしました。



お詫びと訂正

広報かじき一月号二ページの記事で、「イラクへの派兵」とあるのは「イラクへの派遣」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

初市を開催

蒲生田通り・端山通り

3月2日(火)・3日(水) 午前8時半～午後6時

※周辺は午前7時から午後7時まで交通規制が行われます。
※駐車場は役場を御利用ください。

問い合わせ先 加治木町商工会 TEL63-2295

KAJIKI

人口・世帯の動き

平成16年1月1日現在

総人口

23,346人 (-22)

男

10,765人 (-14)

女

12,581人 (-8)

世帯数

9,173 (-7)

出生 15人

死亡 17人

転入 76人

転出 96人

※()内は前月との比較
※集計の関係で、前月1日の人口を掲載しています。

3月在宅医表

7日	佐藤 医院	☎59-2607
14日	川畑 内科	☎63-1499
20(祝)	壺岐 医院	☎59-2019
21日	徳永 医院	☎58-2302
28日	四元信一皮膚科	☎63-9912

※診療時間は9:00～17:00です。
※当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。
日曜・祝日歯科救急診療(9:00～15:00)
郡歯科医師会口腔保健センター 溝辺町(Tel58-4388)

3月始良郡眼科医在宅医表

7日	椎原眼科医院	☎43-1050
14日	青雲病院眼科	☎66-3080
20(祝)	田中眼科医院	☎65-3986
21日	渡辺眼科クリニック	☎45-6888
28日	いぢち眼科	☎47-3618

※在宅医は往診はいたしません。
※在宅医の担当時間は午前9時から午後1時までです。
※原則として緊急を要しない一般の患者さんはご遠慮ください。



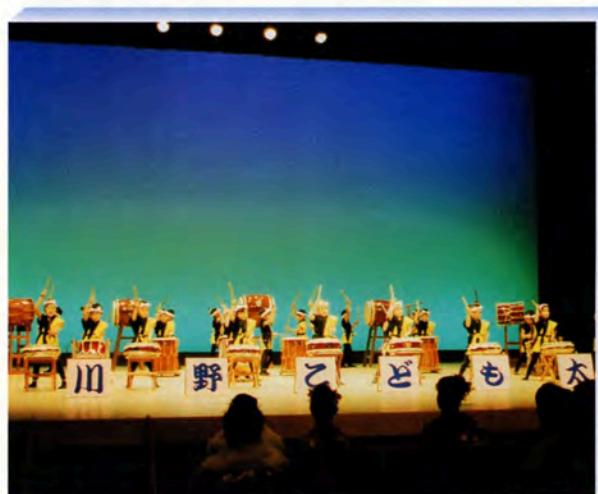
カメラでパチリ



こんなもの
あんなもの



幼年消防クラブの規律訓練



成人式のオープニングを飾った川野こども太鼓



子どもたちの健やかな成長を願って



行列ができた漁協朝市の浜鍋



新星加治木杯ソフトボール大会で町長が始球式



手をつなぐ育成会から役場と
福祉センターに門松が贈られた